



## 利根川治水同盟治水大会での発表について

中小学校長 青木 幸子

8月7日、『利根川治水同盟治水大会』が小山市文化センター大ホールで行われました。その大会で、本校の6年生7名が「ほたるの活動と研究」について発表しました。その時の発表の概要について述べます。平成13年度の5年生が「総合的な学習の時間」に「ほたる橋」の由来について調べる学習に取り組んだことから、研究が始まりました。最終目標は「巴波川にほたるをもどす」ことです。13年度から19年度の研究の流れは右のようになります。平成19年度の活動は、次の3つです。

1. カワニナの放流
2. 巴波川全体の問題追及
3. ほたるの飼育(卵から成虫まで)

3つの活動では、なかなか観察することができなかった放流後の幼虫の様子を観察したいという子ども達の願いで、環境について十分調べ、自分達でミニビオトープをつくり、理科準備室で飼育・観察を続けました。5月16日に成虫を発見し、子ども達は大喜びでした。また、自分達のやってきたことが間違いではなかったと確認できました。そして、夜にはたくさんのほたるが光りました。5・6年生と保護者で観賞しました。この活動を平成20年度の5年生が引き継いでいます。子ども達の活動を側面からバックアップして下さっている「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」のボランティアの皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

## 中小学校 歴代 5年生の研究から

- H13 ほたる橋の歴史調査
- H14 ほたるの住める環境調査!  
昔の巴波川調べ
- H15 ほたるの飼育に挑戦!  
環境浄化にアイガモ農法提案
- H16 巴波川の水質・環境調査!
- H17 巴波川の水質調査!  
巴波川にカワニナの放流1
- H18 巴波川清掃 巴波川の水でヘイケボタル  
飼育 カワニナ放流2
- H19 巴波川全体の問題を発見し解消に向けて!  
カワニナの放流3

## 第7回

# ほたるを観る会

～ピカピカ光るほたるたち～

6月6日・7日の2日間、ほたるを観る会が開催されました。今年も低温の日が続き、開催が一週間程おそくなりましたが、たくさんのかわいいほたるを観ることが出来ました。

大久保寿夫市長さんをはじめ多数のご来賓の方々のもと式典が開催されました。6年生は、ほたるの飼育などの活動を堂々と発表しました。〇×クイズでは、ほたるに変装した子供たちが出題して会場を盛り上げてくれました。イベントでは、ほたるかご作りや折り紙コーナーなど、それぞれが楽しんで製作し、有意義なひと時を過ごすことが出来ました。また、毎年恒例のPTA OBによる売店、今年初めて参加の子供育成会の売店も、最後まで大勢の人で賑わい、全て完売となりました。これも、子供達・地域の為に協力をして下さった、道の駅カウベルさん、美田の郷さんのお陰だと感謝しております。ありがとうございました。

今後も、ほたるを観る会が中地区の行事として、定着していく事を願っています。





# 研究の成果発表 中小6年生

8月7日小山市文化センターにおいて7名の6年生がほたるの活動と研究について発表しました。発表の内容は素晴らしく発表態度も堂々とできました。「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」の活動は、集まった利根川水系に関する1都5県の人たち約1,000名の人たちに感銘を与え、その人たちに活動の様子を良く理解していただけました。発表者の感想です。



発表ではきん張しましたが練習の成果が出せて上手にできたと思います。また、この発表を通じて環境のことやほたるのことなど私たちの願いに関心をもってもらえたらよいと思います。

今まで、昼休みや夏休みなどを使って一生懸命練習したのでこの発表を成功させたいと思いました。とてもきん張しました。でも発表が成功してとても良かったです。

リハーサルではきん張して鳥はだがり立ちましたが、研究発表が始って途中まちがったりもしたけれど成功出来てよかったです。

発表の時はきん張しましたが失敗もせずに最後までやれたのでほっとしました。大勢の人の前で発表する機会がないので、良い体験が出来てとても良かったです。

ほたるの発表でたくさんの方々至今已までの中小学校の研究の成果から今後のほたるのことまですべてのことを知っていただけたことが一番うれしかったです。リハーサルでは不安でしたが成功し喜びの気持ちでいっぱいになりました。

この発表を通していろいろな人にほたるの活動を知ってもらって良かったと思いました。発表が終わった時の拍手はとても感激しました。発表が出来てよかったです。

リハーサルで貧血を起こし「本番ではどうしよう。」と思いましたが発表では、言葉が早くなったけれど最後までがんばれたので良かったです。

# 今年も豊作！160kg！

## 栃木県教育委員会表彰

～ 学校教育支援ボランティア推進団体として～

「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」は栃木県教育委員会から「学校教育支援ボランティア」推進団体として表彰を受けることになりました。

平成13年発足以来、長年にわたり「ほたるを観る会」を通して幼虫の飼育・ビオトープの施設整備・広報活動など児童と共に活動してきたことや「田んぼの学校」の教育活動に協力するなど地域ぐるみの活動が高く評価されたものです。

表彰式は11月5日(水)栃木県庁において行なわれます。



中小学校の「田んぼの学校」活動で5月8日に田植えした稲を実りの秋の9月17日稲刈りし、10月7日に脱穀をしました。

稲刈りまでの131日の間、水の管理草取り・施肥など松本昭二さんには特段のお世話になりました。また中地区のボランティアさんの御協力ありがとうございました。お蔭様で今年は約160kgの米が収穫できて大豊作でした。

えのき祭では、児童達が植えた稲から取れたお米で、お世話になった方々に心を込めておいしい「おにぎり」を作ってお礼をいたします。

中地区の皆さん、11月1日のえのき祭にはぜひ学校へお出かけください。

お待ちしております！



## 来年度の活動に備えて

～ 中地区皆様の善意に感謝！ ～

ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会の活動のための廃品回収がPTA・ほたるの会のボランティアの皆様のご協力で6月21日(土)に行なわれ、学校の集荷場へ次々と善意の品物が運びこまれました。



各地区から集められた古新聞・空き缶ダンボール・ビン等の量の多さに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

お蔭様で346,065円の収益金となりました。益金はほたるの活動のために有効に使わせていただきます。

大変ありがとうございました。

## ほたる一口メモ



★ 日本には約30種・世界では3,000種もの蛍がいます。ほたるの蛍が光るわけではなく、日本の蛍は生涯のほとんどを水中で幼虫期を過ごし成長すること、卵から成虫までのすべての生態で発光するという世界でも珍しい貴重な種類とされています。

★ ほたるの飛び方の違い  
・ゲンジ蛍が曲線的に飛ぶのに対してヘイケ蛍はゲンジ蛍に比べてやや直線的に飛ぶのが特徴です。

## ほたる飼育ボランティアさん募集中！ ～ 来年はあなたのほたるが飛び交います。～

自分が育てたほたるを飛ばしてみませんか。初めての方大歓迎です。飼育方法については飼育担当の経験者がアドバイスします。水槽その他用具については会の方で用意します。どなたでも結構ですお待ちしております。

連絡先 中小学校 38-0649 奥村教頭先生へ

＝編集後記＝

「うずまのほたる」発行は12号目を迎えることになりました。多くの方々の御協力をいただきありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

～ 「うずまのほたる」広報班 ～

田波耕太郎・神山 芳典・田中 佐一・神山 宜久・青木 誠・小林 まき  
五月女ナナ・秋本ひとみ・松沼 由美・早乙女洋子・田中 國雄・奥村 安  
田澤 均